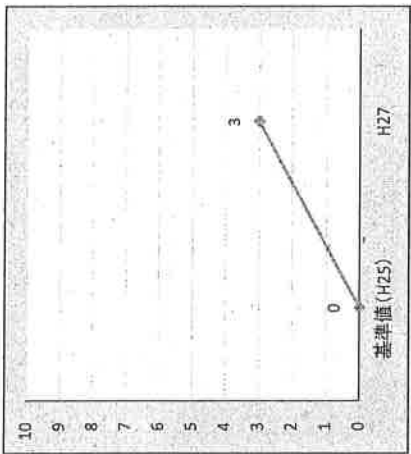


徳島県教育振興計画(第2期) 平成27年度 成果指標進捗状況等

基本方針1 新たな価値を創り出し、未来へ飛躍する人を育てる教育の実現

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
1	キャリア教育の推進	キャリア教育の推進体制の確立及び充実 キャリア教育推進指針の策定・推進	<p>平成25年度に策定した「徳島県キャリア教育推進指針」を学校・家庭・地域に周知し、学校が組織的にキャリア教育に取り組みたいための指導体制を確立する上で必要となる全体計画の作成を推進するとともに、職業人・社会人による「講演・出前授業」の実施など、学校におけるキャリア教育を推進するための支援を図る。</p> <p>学校関係者・経済団体・有識者等から組織する「徳島県キャリア教育推進協議会」を開催し、「徳島県キャリア教育推進指針」の周知・推進を図るための方策について協議・検討を行うとともに、「経済団体・企業等と連携した「講演・出前授業」や教職員の企業理解に向けて教員対象企業見学バスツアーの実施、「キャリア教育推進フォーラム」の開催など、学校におけるキャリア教育推進に向けての支援に取り組んだ。また「職業体験・インターンシップ」を円滑に実施するための手引を学校編・企業編に分けて作成した。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>策定</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：－)</p> <p>(成果) キャリア教育を推進する上で必要となる全体計画が県内公立すべての学校において作成された。学校におけるキャリア教育推進への支援として「経済団体・企業等と連携した「講演・出前授業」や教員対象企業見学バスツアーの実施、さらに「キャリア教育推進フォーラム」の開催により、系統的・体系的なキャリア教育の推進につながった。(課題) 家庭・企業への「徳島県キャリア教育推進指針」の周知が不十分であるとともに、各学校において全体計画に基づく実効性のある実践が必要である。職業体験及びインターンシップの参加者数を増やすことも課題である。</p> <p>「徳島県キャリア教育推進協議会」を継続して開催し、学校・家庭・経済団体・企業が連携・協働したキャリア教育を推進する。各学校における全体計画に基づく実効性のあるキャリア教育の推進に向けて、点検・評価等についての支援を図る。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	-	策定	推進	推進				推進	推進
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)													
-	策定	推進	推進				推進	推進													
2	キャリア教育の推進	担当課 学校教育課 施策・成果指標 キャリア発達を促すための体験的な活動の推進 公立高校におけるインターンシップの実施率	<p>事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>児童生徒の社会的・職業的自立に向けた基礎的な能力の向上や勤労観・職業観の育成を図るため、県下全域における職場体験やインターンシップの取組を推進する。</p> <p>インターンシップを促進するため、「県立施設におけるインターンシップ促進事業」「専門高校コンソーシアム事業」、さらには産業人材育成センターと連携して「高校生キャリアアリアアープ推進事業」や「企業採用リーフレットを作成し配布を行った。さらに、インターンシップ推進に向けた学校用リーフレット及び企業採用リーフレットを作成し配布を行った。さらに、インターンシップについて新規の受入先企業を開拓するなどして、インターンシップ受入先企業のデータベースである「あわ教育サポーター企業データベース」について充実を図った。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>基準値(H23)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>77.3</td> <td>82.9</td> <td>82.9</td> <td>92.7</td> <td></td> <td></td> <td>100.8%</td> <td>92</td> <td>97</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：%)</p> <p>(成果) 「県立施設におけるインターンシップ促進事業」、「専門高校コンソーシアム事業」、さらには産業人材育成センターと連携して実施している「高校生キャリアアリアアープ推進事業」の活用等により、昨年度より約10ポイント近く参加率が上昇した。企業等データベースの構築により、昨年度より約10ポイント近く参加率が上昇した。</p> <p>(課題) 全制のすべての高校においてインターンシップを実施している。インターンシップ体験者人数を増やしていく必要がある。また、今後、目標値を達成するためには、定時制のインターンシップの実施率を向上させさせる必要がある。生徒の多様な希望に対応するため「あわ教育サポーター企業データベース」のさらなる充実も必要であり、また、「教職員の負担」「日数の確保」等の課題に対応していく必要がある。</p> <p>目標値を達成するためには、定時制のインターンシップの実施率を向上させさせる必要がある。「あわ教育サポーター企業データベース」の内容の充実や利用促進を図るとともに、定時制の生徒がインターンシップに参加できる新卒の受入先の情報提供を充実させる。また、平成28年3月に作成した「職場体験・インターンシップ」実施の手引の普及及び活用促進を図る。</p>	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	77.3	82.9	82.9	92.7			100.8%	92	97
基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)													
77.3	82.9	82.9	92.7			100.8%	92	97													

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針															
3	キャリア教育の推進	キャリア発達を促すための体験的な活動の推進 公立中学校における職場体験の実施率 	<p>児童生徒の社会的・職業的自立に向けた基礎的な能力の向上や勤労観・職業観の育成を図るため、県下全域における職場体験やインターンシップの取組を推進する。</p> <p>各市町村教育委員長や中学校長が集まる会において、職場体験の必要性を伝えるなどして職場体験実施に向けた依頼を行った。また、職場体験受入に向けた企業用リーフレットを作成し配布を行った。さらには、職場体験について新規の受入先を開拓するなどして職場体験受入先企業のデータベースである「あわ教育サポーター企業等データベースシステム」について充実を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">(単位：%)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H23)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>達成率(H27)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>96.5</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>98.8</td> <td>98.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) これまでの啓発活動により、目標値はほぼ達成できている。今年度は、台風の影響により修学旅行の日程が変更され、職場体験が実施できなかった学校が1校あった。来年度、実施できなかった学校に対して職場体験の計画をしている。</p> <p>(課題) 生徒の多様な希望に対応するため「あわ教育サポーター企業等データベースシステム」のさらなる充実、また、「教職員の負担」「体験時間」「日数の確保」等の課題に対応していく必要がある。</p> <p>「あわ教育サポーター企業等データベースシステム」の受入先の情報提供を充実させることや利用促進を図るとともに、平成28年3月に作成した「職場体験・インターンシップ」実施の手引の普及及び活用促進を図る。</p>	(単位：%)					基準値(H23)	H25	H26	H27	達成率(H27)	96.5	100.0	100.0	98.8	98.8%
(単位：%)																		
基準値(H23)	H25	H26	H27	達成率(H27)														
96.5	100.0	100.0	98.8	98.8%														
4	キャリア教育の推進	産学官連携・高大連携の推進 産学連携事業実施校数(累計) 	<p>事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>専門教育の一層の高度化を図るため、企業や大学、県の試験研究機関等と協働した施策や事業を積極的に行う。</p> <p>阿南工業高校、城西高校神山分校、三好高校の3校で各企業や団体等から原材料や技術を提供してもらい、阿南工業高校では発電所から輩出される石炭灰の有効利用、城西高校神山分校でのNPO法人と連携したオリジナル商品の検討・開発、三好高校においてはキクイモの栽培や販路拡大に向けた薬草会社との連携を積極的に進めることができた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">(単位：校)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>達成率(H27)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>12</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 本事業により、専門高校の生徒の創造力や専門的技術・技能を生かした実践的な取組を行うことができ、専門的な技術・技能の深化を図ることができた。</p> <p>(課題) 本事業の一層の推進に向けて、多くの専門高校が、企業や大学、県の試験研究機関等と連携を深めることができるように支援していく必要がある。</p> <p>平成28年度については、3校程度を認定し、引き続き専門的な技術・技能の深化を図る。累積で15校の取組を予定している。</p>	(単位：校)					基準値(H24)	H25	H26	H27	達成率(H27)	3	6	9	12	100.0%
(単位：校)																		
基準値(H24)	H25	H26	H27	達成率(H27)														
3	6	9	12	100.0%														

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針																													
5	キャリア教育の推進	産学官連携・高大連携の推進 6次産業化商品のプロデュース数(累計)  	<p>「6次産業化をプロデュースする人材」を育成するため、農業科、工業科、商業科設置高校が連携し、それぞれの専門性を活かすことにより、6次産業化に対応した実践的な取組を行う。こうした取組の実証成果をもとに、全県下に普及を図ることで、専門高校の充実や6次産業化に対応した新たな教育を推進する。</p> <p>徳島ならではの生産物でもあり、城西高校の生産物である「阿波藍」をテーマに、城西高校、徳島科学技術高校、徳島商業高校の生徒が集まり、生産・加工・商品開発について協働・情報交換を行い、各自の専門性を学んだ立場から、6次産業化商品のプロデュースに取り組んだ。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="5">(単位：件)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H25)</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>-</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成率(H27)</td> <td>目標値(H27)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>300.0%</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 農業・工業・商業科設置校の連携による、「阿波藍」をテーマに藍を食とした6次産業化商品(和菓子・ぎょうざ等)をプロデュースできた。また生産における改善として、県農林水産総合技術支援センターとの連携による「藍の刈り取り機」、オリジナルの「藍すくも温度管理システム」を製作できた。</p> <p>(課題) 商品開発後の販売を展開する上で、原材料となる藍の生産量の確保が課題である。</p> <p>県央での実証成果を踏まえ、県南・県西へ拡充することで、さらなる農業・工業・商業科設置校等の連携による6次産業化に対応した教育を進展させる。</p>	(単位：件)					基準値(H25)	H26	H27	H28	H29	0	-	3						達成率(H27)	目標値(H27)				300.0%	1				
(単位：件)																																
基準値(H25)	H26	H27	H28	H29																												
0	-	3																														
			達成率(H27)	目標値(H27)																												
			300.0%	1																												
6	キャリア教育の推進	産学官連携・高大連携の推進 大学から高校へ出向き行う出張講義や大学において行う高校生対象の講義・実験・実習等の実施	<p>事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>徳島県内の大学と徳島県教育委員会の連携に関する連絡協議会における高大連携部会の事業として、県内5大学の「県内5大学出張講義一覧」を総合教育センターホームページに掲載し、大学と高等学校の連携を強化することで、キャリア教育の推進を図る。</p> <p>県内5大学の「県内5大学出張講義一覧」を総合教育センターホームページに掲載し、各高等学校に積極的な利用を推奨した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="5">(単位：一)</th> </tr> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成率(H27)</td> <td>目標値(H27)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 各高等学校で、出張講義の積極的な活用がなされた。</p> <p>(課題) 高等学校のニーズと大学が提供する講座のマッチングをさらに図っていく必要がある。</p> <p>毎年度「県内5大学出張講義一覧」を更新して、各高等学校に広報していきたい。</p>	(単位：一)					基準値	H25	H26	H27	H28	H29	-	推進	推進	推進							達成率(H27)	目標値(H27)						推進
(単位：一)																																
基準値	H25	H26	H27	H28	H29																											
-	推進	推進	推進																													
				達成率(H27)	目標値(H27)																											
					推進																											

推進項目番号	施策・成果指標	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
7	外国語(英語)教育・国際理解教育・国際交流の推進 海外からの教育旅行受入推進、短期語学研修や長期留学の推進、学校内における国際理解教育の推進 担当課 学校教育課	外国語(英語)教育の充実や国際交流の推進により、児童生徒のグローバルマインドを育成する。 「Tokushima英語村プロジェクト・ステップアップ事業」「留学促進事業」「徳島グローバルスタンダード人材育成事業」等により、日本人としてのアイデンティティや「生きた英語」を身に付けるため、児童生徒が外国人と交流する機会を提供したり、留学や海外短期研修の経費支援等を行った。 (単位：人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> (成果) 実践的に英語を使用したり「世界」を体感する機会の提供により、学校単位での国際交流推進や小中高を通じてグローバルマインドの育成を図ることができた。また、学校計画訪問等により英語の指導改善を図ることができた。 (課題) 意欲ある生徒が、学校での授業や外国人との交流で身に付けた英語力やコミュニケーション能力をさらに伸ばす機会を提供する必要がある。 引き続き小中高を通じて英語力を高めたりグローバルマインドを育成する機会を提供しつつ、訪日外国人等に県内を英語で案内できる能力を身に付けた人材を育成するため、高校生の「ジュニア観光ガイド」を養成する。	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	-	推進	推進	推進	推進			推進	推進
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)												
-	推進	推進	推進	推進			推進	推進												
8	外国語(英語)教育・国際理解教育・国際交流の推進 高校生の留学(疑似留学体験、海外語学研修含む)若教 担当課 学校教育課	外国語(英語)教育の充実や国際交流の推進により、児童生徒のグローバルマインドを育成する。 「Tokushima英語村プロジェクト・ステップアップ事業」「留学促進事業」「徳島グローバルスタンダード人材育成事業」等により、日本人としてのアイデンティティや「生きた英語」を身に付けるため、児童生徒が外国人と交流する機会を提供したり、留学や海外短期研修の経費支援等を行った。 (単位：人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>106</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>220</td> <td></td> <td></td> <td>115.8%</td> <td>190</td> <td>230</td> </tr> </tbody> </table> (成果) 実践的に英語を使用したり「世界」を体感する機会の提供により、学校単位での国際交流推進や小中高を通じてグローバルマインドの育成を図ることができた。また、学校計画訪問等により英語の指導改善を図ることができた。 (課題) 意欲ある生徒が、学校での授業や外国人との交流で身に付けた英語力やコミュニケーション能力をさらに伸ばす機会を提供する必要がある。 引き続き小中高を通じて英語力を高めたりグローバルマインドを育成する機会を提供しつつ、訪日外国人等に県内を英語で案内できる能力を身に付けた人材を育成するため、高校生の「ジュニア観光ガイド」を養成する。	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	106	-	-	220			115.8%	190	230
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)												
106	-	-	220			115.8%	190	230												

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
9	多様なニーズに対応した教育の推進 グローバル化に対応した学習機会の提供	婦国・外国人児童生徒に対する教育の充実 日本語教育支援の実施及び異文化に対する相互理解教育の推進	事業目的 取組状況 (H27年度分)	<p>婦国・外国人児童生徒に対して行う日本語指導等の支援については、地域や学校、児童生徒の実態等によって、指導内容や指導体制が大きく異なっている。県内の日本語教育に関係機関との連携を図り、このような児童生徒に対して一定の質が担保された日本語指導を受けることができる支援体制整備の構築を図る。</p> <p>「婦国・外国人児童生徒“いきいき”モデル事業」「婦国・外国人児童生徒支援事業」により、日本語指導を必要とする婦国・外国人児童生徒に対して日本語講師を学校に派遣し、日本語学習の支援を行った。また、日本語教育に関わる市民団体や国際交流協会、大学との連絡協議会や、日本語講師や学校の教員等を対象とした研修会を実施することにも、学校が受入の際に役立つWEBページに、保護者に対しフィードバックによる情報提供の追加するなど、支援体制の充実を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：人)</p> <p>(成果) 県内の関係機関とのネットワーク構築により、学校に日本語指導が必要な児童生徒が転入してきた際に必要ない支援を円滑に実施できるようになった。</p> <p>(課題) 外国人児童生徒の増加に伴い、日本語指導や通訳ができる人材をより多く確保する必要がある。</p> <p>日本語講師の指導力向上を図るための研修の実施等により婦国・外国人児童生徒への支援体制の充実を図る。また、小・中学校を所管する市町村との連携強化を図るため、平成28年度からは、市町村が主体的に取り組めるように実施主体を市町村へ移行し、県が補助事業として市町村の取組を支援する。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	-	推進	推進	推進				推進	推進
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)														
-	推進	推進	推進				推進	推進														
10	I C T 活用能力の育成	ICTを活用した教育の推進 ICTを活用した授業実践の研修参加者数	事業目的 取組状況 (H27年度分)	<p>事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>学校においてICTを活用した教育の推進が図られるよう、総合教育センターで実施する研修において、教職員がICTを活用した授業等を実践し、児童生徒が自ら、また協働して学習できる環境等を作るためのスキル及び意識の向上を図る。</p> <p>1 初任者研修、10年経験者研修において、デジタル教材の作成やICT活用を取り入れた模擬授業形式の研修を実施した。(各1日)</p> <p>2 希望者を対象とした研修において、学校でのICT活用を想定した研修講座を実施した。(7講座10回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>377</td> <td>442</td> <td>423</td> <td></td> <td></td> <td>105.8%</td> <td>400</td> <td>400</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：人)</p> <p>(成果) 文部科学省「教育の情報化に関する手引」に示された「教員に必要なICT活用指導力」の内容に沿った研修を実施したことにより、授業におけるICTの活用について、理解とスキルを深めることができた。</p> <p>(課題) 文部科学省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」(平成27年3月実施)において、ICT活用指導力に関して、「わりにできる」「ややできる」と回答した本県の教員の割合は87.2%であり、全国平均(71.4%)を上回っているものの、今後この割合の向上が求められる。</p> <p>今後も、授業における教員のICT活用指導力向上に資する研修内容の改善に取り組みむとともに、児童生徒の学習環境の変化に対応した講座の充実を図る。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	-	377	442	423			105.8%	400	400
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)														
-	377	442	423			105.8%	400	400														

推進項目	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																				
11	<p><b>事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針</b></p> <p>中長期的にジュニア選手の競技力の向上を図るため、県体協、県教委及び競技団体との連携を密に図り、発達段階に応じた「一貫指導システム」の構築と「優秀な指導者の養成」をめざす。</p> <p>平成21年度から実施している「徳島育ち競技力向上プロジェクト」において、優れた素質を持つジュニア選手の発掘からトップアスリートまで切れ目のない強化体制を構築するため、「競技者育成プログラム」の普及及び一貫指導を実施する体制の整備を着実に図っている。平成27年度は、23の競技団体が「育成プログラム」を作成及び修正することにより実践した。</p> <p>さらに、団体選手の競技力向上のため、成果指向型の選手強化に努めるとともに、ドクターやトレーナー及び栄養士等によるサポートやメンタルトレーニング等に対する積極的な研修等、医科学面からのサポート体制を充実させることにより、基礎強化を図った。</p> <p>(成果) 団体をはじめとする全国大会や国際大会において、高校生の上位入賞者の増加が見られる。</p> <p>(課題) 組織力や運営能力が未成熟な競技団体に対して、競技力の底上げや指導者の資質向上に向けての助言や支援を継続的に行うなど、一層競技団体と連携・協働していく必要がある。</p> <p>ジュニアからシニアまでの一貫した指導により、将来オリンピック出場が可能なトップアスリート選手の育成を目指す「一貫指導システム」の構築と「トップ指導者の養成」を継続するとともに、競技スポーツにおける成果指向型の選手強化を図り、さらなる競技力向上を進める。</p> <p>（単位：位）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>45</td> <td>47</td> <td>46</td> <td>46</td> <td></td> <td></td> <td>30位台</td> <td>30位台</td> <td>30位台</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業目的</p> <p>取組状況(H27年度分)</p> <p>評価</p> <p>今後の取組方針</p> <p>事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>全国高等学校総合体育大会等の全国大会において上位入賞ができて運動部を育成する。</p> <p>鳴門渦潮高等学校スポーツ科の施設や人材を活用した「渦潮スポーツアカデミー推進事業」や「徳島トップスポーツ教育事業」を通して競技力向上を図った。</p> <p>（単位：団体・個人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H25)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>20</td> <td></td> <td></td> <td>117.6%</td> <td>17</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 「平成27年度全国高等学校総合体育大会」において、団体6、個人14、合計20の入賞があった。また、全国高校総体と同等の大会である「第53回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会」においても、団体3、個人3、合計6の入賞があった。</p> <p>(課題) 個人種目の活躍は顕著で強化の成果が見られるが、球技系の団体種目において入賞数が少なくそれらの強化を図る必要がある。</p> <p>「ジュニア選手の発掘」や「指導者の養成」に取り組みむとともに、中学校と連携を図り継続的な強化に努めることにより、高校生の競技力向上を図る。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	45	47	46	46			30位台	30位台	30位台	基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	11	-	-	20			117.6%	17	20
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)																													
45	47	46	46			30位台	30位台	30位台																													
基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)																													
11	-	-	20			117.6%	17	20																													
12	<p><b>事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針</b></p> <p>スポーツ文化の創造</p> <p>担当課 県民スポーツ課</p> <p>事業目的</p> <p>取組状況(H27年度分)</p> <p>評価</p> <p>今後の取組方針</p> <p>事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>全国高等学校総合体育大会の入賞(団体・個人)数</p> <p>（単位：団体・個人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H25)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> <p>スポーツ文化の創造</p> <p>担当課 体育学校安全課</p>	基準値(H25)	H25	H26	H27	11	20	20	20																												
基準値(H25)	H25	H26	H27																																		
11	20	20	20																																		

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																				
13	スポーツ文化の創造	競技スポーツの振興 鳴門渦潮高校のスポーツ科学機器を活用した体力測定人数 <table border="1"> <tr> <td>基準値(H24)</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H27)</td> <td>目標値(H27)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>250</td> <td>328</td> <td>325</td> <td>214</td> <td></td> <td></td> <td>71.3%</td> <td>300</td> <td>300</td> </tr> </table>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	250	328	325	214			71.3%	300	300	県内トップ選手の体力を総合的に診断し、得られたデータを科学的に分析しトレーニングに活用することで競技力の向上を図る。 大学や県トレナー協会、スポーツ栄養士協会と連携を強め、競技者の体力を「総合的」に診断し、競技力向上のサポートを行った。	(単位：人) <table border="1"> <tr> <td>基準値(H24)</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H27)</td> <td>目標値(H27)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>250</td> <td>328</td> <td>325</td> <td>214</td> <td></td> <td></td> <td>71.3%</td> <td>300</td> <td>300</td> </tr> </table> (成果) スポーツ指定校をはじめ、県内高校の運動部に「体力診断」が定着しつつある。 (課題) 蓄積したデータを大学等の専門機関と連携して分析し、多くのアスリートが活用できるようにする。平成27年度は測定人数が減少したが、今後は、県高等学校体育連盟が主催する会議での周知や、学校へ個別に働きかけるなど、あらゆる機会を通じて情報発信し、多くの運動部に活用してもらえよう取り組んでいく必要がある。 今後も継続して測定を行うとともに、今までに得られたデータを分析し県内の競技者にフィードバックすることと科学的トレーニングの一助とする。また、ジュニア選手の測定を行い、才能ある競技者の発掘を行う。	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	250	328	325	214			71.3%	300	300
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)																																
250	328	325	214			71.3%	300	300																																
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)																																
250	328	325	214			71.3%	300	300																																
14	スポーツ文化の創造	担当課 体育学校安全課 施策・成果指標 スポーツを通じた幸福で豊かな生活の創造 徳島県スポーツ推進計画の着実な推進	事業目的 今後の取組方針	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針 少年高齢化の進行や高度情報化社会の進展など、近年の社会環境や生活様式の急激な変化により、スポーツや運動をする機会が減少し、体力・運動能力の低下のみならず、メタボリック・シンドロームや心の病の増加、人間関係の希薄化、地域間格差の拡大など様々な課題を生じさせている。こうした状況の中、本県スポーツを取り巻く社会の現状と課題を踏まえ、今後の本県スポーツ推進の基本的な方向性を示すものである。 50年ぶりに全面改正された「スポーツ基本法」が平成23年8月に施行され、平成24年3月には、国の「スポーツ基本計画」が策定されたことに伴い、平成25年3月に策定した「徳島県スポーツ推進計画」の進捗状況を審議するため、平成28年2月に「徳島県スポーツ推進審議会」を開催した。 また、各市町村におけるスポーツ関係施策等のアンケートを行い、集計結果を各市町村にフィードバックするとともに、地域の実情に即した「市町村スポーツ推進計画」の策定について働きかけを行うため、平成27年7月に「スポーツ推進・市町村担当課長会議」を開催した。																																				
			評価	(成果) 市町村ごとのスポーツ活動の実態を把握することができ、市町村との連携した取組の強化につながった。 (課題) 県、市町村、スポーツクラブ、大学、医療機関等、多様な主体が一層連携していく必要がある。																																				
			今後の取組方針	県、市町村、県体育協会、総合型クラブ等と一層の連携を図りながら、計画的・効果的な施策を推進していく。																																				

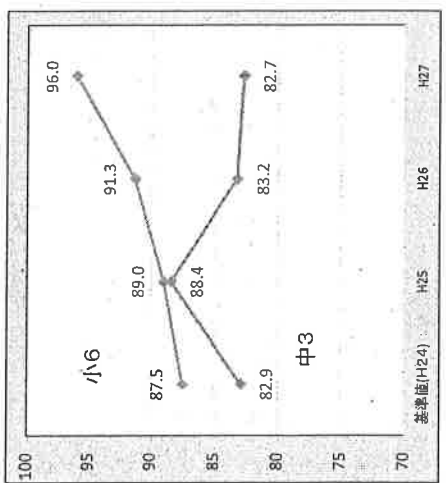
番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針																
15	伝統文化の継承と文化芸術の創造	文化芸術活動の推進 学校で文化芸術活動に関する授業ができる芸術家や団体の登録数 	<p>学校で文化芸術活動に関する授業ができる芸術家や団体に「文化教育人材バンク」に登録してもらい、計画的に登録数を増やすとともに、学校に周知することで、芸術家等と学校をコーディネートし、地域及び学校における文化教育の活性化をめざす。</p> <p>1年を通じて「文化教育人材バンク」への追加登録に努めた。また、学校に「文化教育人材バンク」の活用を周知するとともに、年度末に既登録者に対する登録継続の確認を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>150</td> <td>183</td> <td>177</td> <td>176</td> <td></td> <td>97.8%</td> <td>180</td> <td>180</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位:人)</p> <p>(成果)「文化教育人材バンク」の登録者数の拡大に努めるとともに、文化庁事業・県費事業の募集案内時には、バンクが利用できることを周知した結果、多くの学校がバンク登録者を活用することができた。</p> <p>(課題)各学校の文化芸術活動が幅広くなるよう、多様なジャンルの芸術家を確保し、周知に努める必要がある。</p> <p>「文化教育人材バンク」が学校現場でより一層活用されるよう、芸術家等と学校のニーズを把握しながら、新規登録者の開拓に努める。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	150	183	177	176		97.8%	180	180
基準値(H24)	H25	H26	H27	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)												
150	183	177	176		97.8%	180	180												
		担当課 教育文化課	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針																
16	伝統文化の継承と文化芸術の創造	文化芸術活動の推進 文化の森文化施設普及事業の開催回数 	<p>各館で様々な普及行事を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館 114回</li> <li>・近代美術館 56回</li> <li>・21世紀館 36回</li> <li>・鳥居龍藏記念博物館 10回</li> <li>・文書館 70回</li> <li>・図書館 12回</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H23)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>254</td> <td>265</td> <td>298</td> <td>298</td> <td></td> <td>110.4%</td> <td>270</td> <td>270</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位:回)</p> <p>(成果)県民の誰もが参加でき、楽しみながら学び、考え、知的欲求を満たすことのできる場を提供した。</p> <p>(課題)県民のニーズに応じた、豊富な普及行事を実施する必要がある。</p> <p>引き続き、幼児から成人・高齢者に至るまでの世代を対象にした普及事業を実施する。今後は、参加者の要望も取り入れながら、更に親しみやすい事業を計画・実施するとともに、意欲的に継続して普及事業に参加される方には、内容を深く掘り下げた知的好奇心を刺激するような事業も併せて実施する。</p>	基準値(H23)	H25	H26	H27	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	254	265	298	298		110.4%	270	270
基準値(H23)	H25	H26	H27	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)												
254	265	298	298		110.4%	270	270												
		担当課 文化の森振興本部	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針																
			事業目的																
			取組状況(H27年度分)																
			評価																
			今後の取組方針																



推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																																
番号	伝統文化と文化財の保存・継承 伝統文化や文化財に関する教育を組み入れた中学校 教育課程の実施	あわ文化教育を教育課程に位置づけて、効果的にかつ継続的に、ふるさと徳島の伝統文化や文化財について学び、誇りを持って県内外へ発信していくことができる生徒の育成をめざす。																																																
17	伝統文化の継承と文化芸術の創造	<p>モデル校である県立中学校を含む25の公立中学校2年生及び、全ての県内公立中学校1年生を対象に「あわ文化学習」を実施した。それぞれの中学校の教育課程に基づき、あわ文化についての授業・体験授業・現地授業を行った。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="6" style="text-align: center;">(単位：一)</th> </tr> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">-</td> <td>モデル校での実施</td> <td>モデル校での実施</td> <td>全公立中学校での実施</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">達成率(H27)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">目標値(H27)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">モデル校での実施</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">全公立中学校での実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 県立3中学校(城ノ内中学校・富岡東中学校・川島中学校)を含む25の公立中学校2年生及び、全ての県内公立中学校1年生を対象に「あわ文化学習」を実施した。</p> <p>(課題) あわ文化学習を効果的に実施するための、指導の工夫・改善が必要である。</p> <p>全公立中学校で体系的かつ効果的にあわ文化教育が実施されるよう、あわ文化教育リーダー育成のための研修を実施し、指導の補助資料充実に努める。</p>	(単位：一)						基準値	H25	H26	H27	H28	H29	-	モデル校での実施	モデル校での実施	全公立中学校での実施								達成率(H27)						目標値(H27)						モデル校での実施						目標値(H29)						全公立中学校での実施
(単位：一)																																																		
基準値	H25	H26	H27	H28	H29																																													
-	モデル校での実施	モデル校での実施	全公立中学校での実施																																															
					達成率(H27)																																													
					目標値(H27)																																													
					モデル校での実施																																													
					目標値(H29)																																													
					全公立中学校での実施																																													
		<p>取組状況(H27年度分)</p> <p>評価</p> <p>今後の取組方針</p> <p style="text-align: right;">担当課 教育文化課</p>																																																

基本方針2 知・徳・体の調和がとれ、社会を生き抜く力を育てる教育の実現

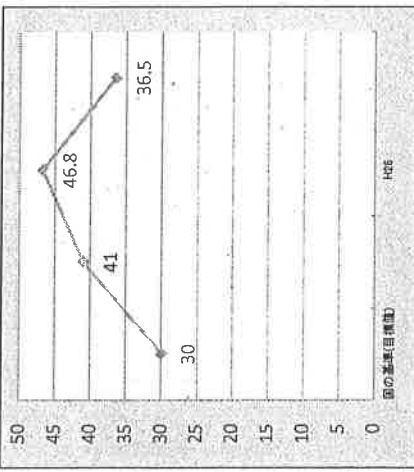
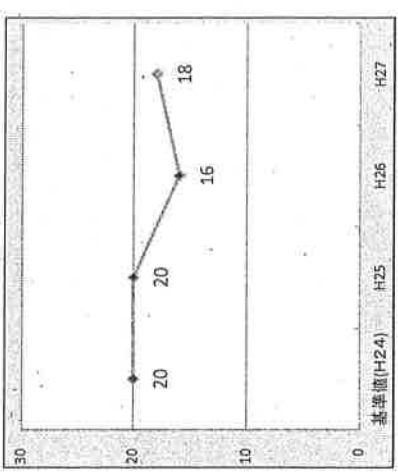
番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針																											
18	確かな学力の育成	<p>学力向上策の推進 ふだん一日10分以上読書をする児童生徒の割合</p> <table border="1"> <caption>読書率の推移 (単位: %)</caption> <thead> <tr> <th>基準値(H23)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>70.1</td> <td>86.5</td> <td>81.9</td> <td>84.2</td> <td></td> <td></td> <td>96.8%</td> <td>87.0</td> <td>89.0</td> </tr> <tr> <td>58.1</td> <td>79.9</td> <td>72.5</td> <td>74.8</td> <td></td> <td></td> <td>93.5%</td> <td>80.0</td> <td>84.0</td> </tr> </tbody> </table>	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	70.1	86.5	81.9	84.2			96.8%	87.0	89.0	58.1	79.9	72.5	74.8			93.5%	80.0	84.0	<p>事業目的 全国的に家庭における読書離れが指摘されている中、学校図書館活動を活性化し、貸出冊数を増加させるなど学校による家庭読書につながる取組を充実させ、児童生徒が家庭や図書館で本を読む習慣を定着させる。</p> <p>取組状況 (H27年度分) 学校図書館の活性化を通じた読書習慣づくりの取組として「読書の生活化プロジェクトⅣ」を実施し、小学校5年生、中学校2年生を対象に実態調査を実施した。</p> <p>評価 (成果) 多くの学校において、授業での学校図書館の活用やお薦めブックリストの作成、朝の一斉読書など学校をあげての取組が行われ、読書活動の推進が図られている。</p> <p>今後の取組方針 (課題) 小学生に比べ、中学生の読書活動の割合がやや低いため、読書の生活化に向けた取組を深め、さらに啓発活動を行う必要がある。</p> <p>子どもたちの身近に読みたい本がある環境づくりを推進するため、各学校の図書館がより一層活用されるように図書館活用機会を拡大していく。また「読書の生活化プロジェクトⅣ」を実施し、毎月23日を「家庭読書の日」、その週を「家庭読書推進週間」として新聞を含む家庭読書につながる取組を実施する。</p>
基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)																						
70.1	86.5	81.9	84.2			96.8%	87.0	89.0																						
58.1	79.9	72.5	74.8			93.5%	80.0	84.0																						
19	確かな学力の育成	<p>学力向上策の推進 「全国学力・学習状況調査」で調査対象となっている国語・算数(数学)の県平均正答率</p>	<p>事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>事業目的 「全国学力・学習状況調査」における教科(国語、算数・数学)の調査により、知識・技能の習得及び知識・技能を活用して問題を解決する力(思考力・判断力・表現力等)の定着の状況等を把握し、各学校の授業改善を促進する。</p> <p>取組状況 (H27年度分) 学力向上推進委員研修会、学校訪問指導等において、調査結果の分析を踏まえた授業改善の具体的方策を周知するとともに、市町村教育委員会との協議や校長会等を通じて、課題解決に向けた指導の充実について共通理解を図った。</p> <p>「全国学力・学習状況調査」の実施(4月21日) 「全国学力・学習状況調査」の結果公表(8月26日)</p> <table border="1"> <caption>(単位: -)</caption> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> <td>全国平均以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 全国的・全県的な状況を参考に各学校において結果分析を行い、自校の課題に即した授業改善等の取組が推進されている。</p> <p>評価 (課題) 各学校において、学年間の指導内容の系統性を踏まえた継続的な指導に関する認識を深め、学力・学習状況調査を有効に活用することが重要である。</p> <p>今後の取組方針 引き続き「全国学力・学習状況調査」に参加し、調査結果を活用した学力向上の取組を一層推進する。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	-	-	-	推進				推進	全国平均以上									
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)																						
-	-	-	推進				推進	全国平均以上																						

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針																												
20	確かな学力の育成	学力向上策の推進 「全国学力・学習状況調査」における、書く力を伸ばすための指導の実施率 	「全国学力・学習状況調査」における質問紙調査により、各小・中学校における児童・生徒の重点的な課題となっている書く力を伸ばすための充実を促進する。 学力向上推進員研修会、教育課程研究会、学校訪問等を通じて、書く力を伸ばすための具体的な指導方法等について研修を実施した。 「学力向上推進員研修会(6月・2月)」 「教育課程研究会(8月)」 「学校訪問指導(延べ約300校)」の実施 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="5">(単位：%)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小6</td> <td>87.5</td> <td>89.0</td> <td>91.3</td> <td>96.0</td> <td>104.9%</td> <td>91.5</td> <td>92.5</td> </tr> <tr> <td>中3</td> <td>82.9</td> <td>88.4</td> <td>83.2</td> <td>82.7</td> <td>95.6%</td> <td>86.5</td> <td>88.5</td> </tr> </tbody> </table> (成果) 各種研修会、学校訪問等を通じて、書く力を伸ばすための指導の充実を周知したことにより、小学校では目標値を超えるとともに全国平均を上回った。 (課題) 今後は書く力を伸ばすための指導の具体的方策に関する情報提供を行い、指導内容等の充実を図る必要がある。 引き続き、指導の具体的方策に関する情報提供を行い、書く力を伸ばすための指導の充実を促進する。	(単位：%)					基準値(H24)	H25	H26	H27	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	小6	87.5	89.0	91.3	96.0	104.9%	91.5	92.5	中3	82.9	88.4	83.2	82.7	95.6%	86.5	88.5
(単位：%)																															
基準値(H24)	H25	H26	H27	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)																									
小6	87.5	89.0	91.3	96.0	104.9%	91.5	92.5																								
中3	82.9	88.4	83.2	82.7	95.6%	86.5	88.5																								
21	確かな学力の育成	幼稚園・小学校・中学校の連携 幼稚園・小学校・中学校における合同研修会等の連携のための取組の推進 担当課 学校教育課	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針 幼・小・中学校間で、相互の連携を一層促進し、園児・児童・生徒に対する継続的な指導や教師間の情報交換により、園児・児童・生徒への理解を深めるとともに、学習指導、生徒指導等の充実についての研究を推進する。 幼小中連携推進事業「学びのかけ橋」プロジェクトを、平成26年度から2年間の研究指定地域として北島町・東みよし町を指定し、実施した。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="5">(単位：-)</th> </tr> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> (成果) 教職員間の相互交流や合同研修、児童生徒による合同活動等が実施され、連携・接縁の推進が図られた。本事業の成果を「あわ(OUR)教育発表会」や広報誌「ふれあいひろば」を通して、広く県内に普及した。 (課題) 成果の更なる普及を図る必要がある。 幼・小・中11年間を通じた「学び」や「育ち」をつなぐ教育・地域との連携等について、東みよし町・阿南市を指定地域とした2年次の実践的な研究を進めるとともに、その成果の県内への普及に努める。阿南市では、新たに保育所と小学校・中学校との連携・接縁について研究を進める。	(単位：-)					基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	-	推進	推進	推進	推進	推進	推進	推進	推進					
(単位：-)																															
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)																							
-	推進	推進	推進	推進	推進	推進	推進	推進																							

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針																						
22	確かな学力の育成	コミュニケーション能力の育成 授業や行事等において、児童生徒が様々な人とコミュニケーションを図るための取組の推進	<p>授業や行事等において 外部人材や地域のボランティアの人たち等と共に学習することにより様々な立場の人々と交流し、コミュニケーション能力の向上を図る。</p> <p>地域ぐるみで児童生徒のコミュニケーション能力の育成を図るため、学校地域支援本部や地域コーディネーターの育成等の普及を図ることにより、 外部人材や地域ボランティアの積極的な活用を推進した。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">(単位：－)</td> </tr> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> <tr> <td>－</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </table> <p>(成果) 外部人材や地域のボランティアの人々等と交流することによりコミュニケーション能力の育成が図られるとともに、様々な立場の人の思いや考えを知ることができた。</p> <p>(課題) 外部人材や地域の人々との交流のための打合せ時間の確保が課題である。</p> <p>児童生徒が、外部人材や地域のボランティアの人たち等とのさらなる交流を深めることができるようにするために、「総合的な学習の時間」や行事等において積極的に地域の人材を活用するよう、各学校の担当者に対して「総合的な学習の時間」等の年間指導計画や全体計画の工夫改善に努めるよう指導していく。</p>	(単位：－)				基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	－	推進	推進	推進	推進			推進	推進
(単位：－)																									
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)																	
－	推進	推進	推進	推進			推進	推進																	
23	豊かな心の育成	道徳教育の充実 県小中学校教育研究会道徳部会、徳島県道徳教育推進協議会等との緊密な連携	<p>事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>徳島県道徳教育推進協議会を核とした道徳教育実践研究(指定校)事業による研究成果の普及、県小中学校教育研究会道徳部会と連携した道徳教育の指導方法の改善等を通して、道徳教育を推進する。</p> <p>1 県小中学校教育研究会道徳部会の研究発表表等への指導助言を行った。 2 徳島県道徳教育推進協議会との連携を通して研究の推進に努め、研究成果についての普及を図った。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">(単位：－)</td> </tr> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> <tr> <td>－</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </table> <p>(成果) 道徳教育実践研究(指定校)事業(6校)や県小中学校教育研究会道徳部会(都市道徳部会3回、県道徳部会7回)、小中学校校内研修(15回)等の指導・助言を通して、道徳教育の指導の改善に資することができた。</p> <p>(課題) 県内各校において学校の教育活動全体を通して取組が一層推進されるよう、連携を深めることが重要である。</p> <p>県小中学校教育研究会道徳部会、徳島県道徳教育推進協議会との連携を一層深め、学校の教育目標、学校や地域の実情、児童生徒の実態等を踏まえた取組の推進を図る。小中学校においては、平成30年度、平成31年度の道徳の教科化への完全実施に向けて、その一部の実施を推進する。</p>	(単位：－)				基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	－	推進	推進	推進	推進			推進	推進
(単位：－)																									
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)																	
－	推進	推進	推進	推進			推進	推進																	

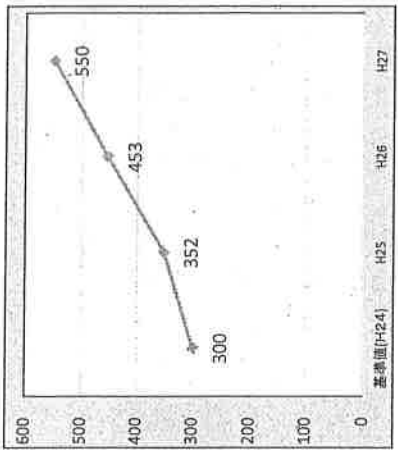
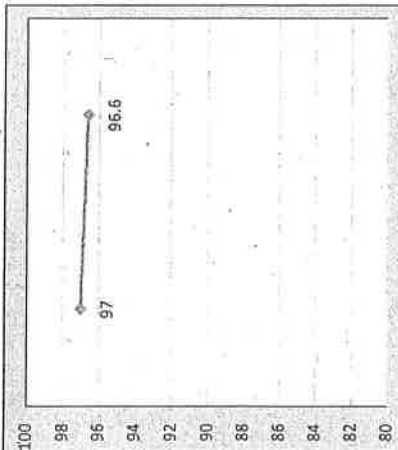
番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針																						
24	豊かな心の育成	<p>豊かな心をはぐくむボランティア活動の推進 各学校における、児童生徒のボランティア活動への参加機会の設定</p> <p>担当課 学校教育課</p> <p>施策・成果指標</p> <p>環境教育の推進 「新 学校版環境ISO」認証を取得した学校の割合</p> <table border="1"> <tr> <td>基準値(H25)</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>80.3</td> </tr> </table>	基準値(H25)	75	H27	80.3	<p>事業目的 学校におけるボランティア教育の充実や家庭・地域・ボランティア団体等との連携を緊密に図り、継続的に学校や地域でのボランティア活動を推進し、その意欲を醸成する。</p> <p>取組状況(H27年度分)</p> <table border="1"> <tr> <td>基準値</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H27)</td> <td>目標値(H27)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </table> <p>(単位：-)</p> <p>各学校において、福祉施設の訪問、地域の清掃活動やリサイクル品回収活動を行うなど、様々な活動が進められた。</p> <p>評価 (成果) 各学校において、東日本震災における被災地支援の重要性を実感させる教材の活用を通して、児童生徒のボランティア活動への参加意欲の高揚が図られた。</p> <p>(課題) 外部人材や地域の人々と連携したボランティア活動を計画する機会の確保、及び活動を推進するための指導力を備えた教員の育成が課題である。</p> <p>今後の取組方針 子どもたちが、主体的にボランティア活動に取り組むことができよう、学校教育においては、ボランティア活動の意義をしっかりと捉えることができるような指導を行っていく。また、学校と家庭、地域がともに取り組む体制やボランティア活動を行う団体との協力体制を確立し、学校外部の人材を活用するなど、地域に根ざした活動の充実を図る。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	-	推進	推進	推進				推進	推進
基準値(H25)	75																								
H27	80.3																								
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)																	
-	推進	推進	推進				推進	推進																	
25	豊かな心の育成	<p>担当課 学校教育課</p> <p>施策・成果指標</p> <p>環境教育の推進 「新 学校版環境ISO」認証を取得した学校の割合</p> <table border="1"> <tr> <td>基準値(H25)</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>80.3</td> </tr> </table>	基準値(H25)	75	H27	80.3	<p>事業目的 従来の学校における節電・ごみ分別・リサイクル活動等に継続的に取り組むとともに、これからの取組を地域に広げ、児童・生徒が地域に向かい、環境美化活動や自然観察等の体験活動を積極的に行い、学校における環境学習で学んだことを、家庭や地域にも波及させていくことを目的とする。</p> <p>取組状況(H27年度分)</p> <table border="1"> <tr> <td>基準値(H25)</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H27)</td> <td>目標値(H27)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>75</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>80.3</td> <td></td> <td></td> <td>100.4%</td> <td>80</td> <td>84</td> </tr> </table> <p>(単位：%)</p> <p>「新 学校版環境ISO」に平成24年度から移行しており、平成27年度は22校が新規に認証取得を行った。平成26年度までの認定校と合わせて80.3%が認証取得している。</p> <p>評価 (成果) 従前の「学校版環境ISO」認定校(14校)の全てが「新 学校版環境ISO」の認証を取得した。本年度の新規の認定校(8校)を含めると、目標としている8割を達成している。「新 学校版環境ISO」の認証取得を通して、環境保全活動や環境学習が全体的に浸透しつつある。また、児童・生徒、教職員が一体となった取組が家庭や地域にも広がっている。</p> <p>(課題) 「新 学校版環境ISO」新規申請校の一層の増加が課題である。</p> <p>今後の取組方針 環境・エネルギー教育推進事業連絡協議会やエコリーダー養成講座、環境・エネルギー教育発表会における講演や実践発表をより一層充実することにより、「新 学校版環境ISO」認定校の一層の拡大を図る。</p>	基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	75	-	-	80.3			100.4%	80	84
基準値(H25)	75																								
H27	80.3																								
基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)																	
75	-	-	80.3			100.4%	80	84																	

推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																				
26	<p>学校体育の充実と運動習慣の確立 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果において全国平均以上の種目数</p> <p>健康やかに生きる力の育成</p>	<p>事業目的 改善傾向にあるもの、また全国平均以下の種目が多く、運動をする子としない子の二極化現象、肥満傾向児の出現率が高い本県の子どもの身体状況とあわせて、体力・運動能力の向上は喫緊の課題であり、学校・家庭・地域が連携した取組を推進し、その実現を図る。</p> <p>取組状況(H27年度分)</p> <table border="1"> <tr> <td>基準値(H25)</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H27)</td> <td>目標値(H27)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>14</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>127.3%</td> <td>11以上</td> <td>15以上</td> </tr> </table> <p>(単位：種目数)</p> <p>1 小学3・4年生を中心に新体力テストの実施及び県内プロスポーツ団体による運動指導を実施した。 2 小学校の体育授業への大学教員等による指導者派遣、運動・生活習慣確立のための指導者派遣を行った。 3 自ら生活や運動習慣の目標を決め100日達成を目指す取組や年度初めの歩数よりプラス1000歩を目指す取組を実施した。 4 ICTを活用し、運動の苦手な子どもでも友だちや家族と繰り返し記録に挑戦できるランキンングシステムの利用を促進した。</p> <p>評価 (成果) 平成27年度の全国体力・運動能力調査の結果(小学校5年生、中学校2年生)、全国平均を上回る種目数が34種目中14種目になり、23種目で前年度より記録が向上した。</p> <p>今後の取組方針 (課題) 全国と比較して、「20mシャトルラン」「持久走」「全身持久力」等「上体起こし」の「筋持久力」が低位の状況で課題が見られる。 小学校体育授業への指導者派遣による実施対象校を拡大していく。また、望ましい生活習慣の形成に向けた取組を支援する専門性のある指導者派遣を進めていく。</p> <p>事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針 「徳島県学校体育指導プランII」に基づき、栄養教諭・学校栄養職員がコーディネーターとなり、その専門性を生かして食に関する指導の充実を図る。</p> <p>取組状況(H27年度分)</p> <table border="1"> <tr> <td>基準値(H25)</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H27)</td> <td>目標値(H27)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>11.1</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>33.3</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>100.0%</td> <td>33.3</td> <td>55.5</td> </tr> </table> <p>(単位：%)</p> <p>1 全公立小中学校の特定学年全学級で、担任と栄養教諭・学校栄養職員のPTによる「食に関する指導」の授業実施 2 公立小中特別支援学校で、担任や栄養教諭・学校栄養職員が学校給食の時間等を活用した「食に関する指導」実施</p> <p>評価 (成果) 全公立小中学校で授業を行うことにより、児童生徒に望ましい食習慣について考えさせ、保護者や地域にも啓発することができた。 (課題) 栄養教諭・学校栄養教諭が、置籍校や置籍調理所から未配置校に赴いて授業をすることが、時間等の制約で困難な場合があった。</p> <p>今後の取組方針 栄養教諭・学校栄養職員の配置拡大を図るとともに、栄養教諭が未配置校に赴いて指導しやすい学校食育推進体制を整備するよう、市町村に働きかける。また、各学校の取組状況を市町村教育委員会を通して定期的に調査し、食育に対する意識向上を図る。</p>	基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	9	-	-	14	-	-	127.3%	11以上	15以上	基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	11.1	-	-	33.3	-	-	100.0%	33.3	55.5
基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)																														
9	-	-	14	-	-	127.3%	11以上	15以上																														
基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)																														
11.1	-	-	33.3	-	-	100.0%	33.3	55.5																														
27	<p>学校における食育の推進 栄養教諭・学校栄養職員による食に関する授業を実施する学年の割合</p> <p>健康やかに生きる力の育成</p>	<p>事業目的 「徳島県学校体育指導プランII」に基づき、栄養教諭・学校栄養職員がコーディネーターとなり、その専門性を生かして食に関する指導の充実を図る。</p> <p>取組状況(H27年度分)</p> <table border="1"> <tr> <td>基準値(H25)</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H27)</td> <td>目標値(H27)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>11.1</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>33.3</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>100.0%</td> <td>33.3</td> <td>55.5</td> </tr> </table> <p>(単位：%)</p> <p>1 全公立小中学校の特定学年全学級で、担任と栄養教諭・学校栄養職員のPTによる「食に関する指導」の授業実施 2 公立小中特別支援学校で、担任や栄養教諭・学校栄養職員が学校給食の時間等を活用した「食に関する指導」実施</p> <p>評価 (成果) 全公立小中学校で授業を行うことにより、児童生徒に望ましい食習慣について考えさせ、保護者や地域にも啓発することができた。 (課題) 栄養教諭・学校栄養教諭が、置籍校や置籍調理所から未配置校に赴いて授業をすることが、時間等の制約で困難な場合があった。</p> <p>今後の取組方針 栄養教諭・学校栄養職員の配置拡大を図るとともに、栄養教諭が未配置校に赴いて指導しやすい学校食育推進体制を整備するよう、市町村に働きかける。また、各学校の取組状況を市町村教育委員会を通して定期的に調査し、食育に対する意識向上を図る。</p>	基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	11.1	-	-	33.3	-	-	100.0%	33.3	55.5																		
基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)																														
11.1	-	-	33.3	-	-	100.0%	33.3	55.5																														

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
28	健康やかに生きる力の育成	学校における食育の推進 学校給食における地場産物の活用率 	<p>地域の産業や文化等について学んだり生産者等に対する感謝の気持ちを育てたりするために、食育の教材である学校給食に安全安心な地場産物の活用を推進する。</p> <p>1 栄養教諭・学校栄養職員研修会で地場産物活用の呼びかけを行った。            2 年2回の地場産物活用率調査を実施した。(6月・11月)            3 「旬の食材活用月間」「食育の日」で地場産物活用の依頼を行った。            4 生産者団体等と地場産物活用推進のための会議を開催した。</p> <table border="1" data-bbox="359 336 446 1355"> <thead> <tr> <th>国の基準(目標値)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30</td> <td>41</td> <td>46.8</td> <td>36.5</td> <td></td> <td></td> <td>104.3%</td> <td>35</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 地場産物活用の呼びかけにより、学校給食における地場産物の活用が進んでいる。</p> <p>(課題) 県産の肉や魚は、価格等の問題で活用困難であった。また、県産根菜類が入手困難な11月は、利用率が上がりにくかった。</p> <p>関係部局や生産者団体と連携をとりながら、地域の実態や各調理場の食数に応じた安定的な地場産物供給体制の整備を進める。</p>	国の基準(目標値)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	30	41	46.8	36.5			104.3%	35	35
国の基準(目標値)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)													
30	41	46.8	36.5			104.3%	35	35													
29	健康やかに生きる力の育成	担当課 体育学校安全課 施策・成果指標 学校保健の充実 健康課題に対する地域検討会、研修会、講演会等の開催回数(累計) 	<p>事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>学校保健の充実を図るとともに、学校・家庭・地域・専門機関と連携し、子どもたちの現代的な健康課題の解決に取り組む。特に、望ましい生活習慣の定着を図り、児童生徒の肥満予防、肥満対策、生活習慣病予防対策を推進する。</p> <p>学校や地域に専門家を派遣し、学校や地域の実情に応じた取組を支援した。また、協議会を開催し、専門家と連携した取組を推進した。</p> <table border="1" data-bbox="949 336 1029 1355"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20</td> <td>20</td> <td>16</td> <td>18</td> <td></td> <td></td> <td>120.0%</td> <td>15</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 協議会・対策会議を6回実施し、アレルギー疾患(2件)、生活習慣病改善(5件)、食生活(1件)、運動・身体の調整能力(2件)、心理(1件)、性教育(1件)について、地域等での研修会、講演会を実施した。</p> <p>(課題) 肥満・生活習慣病予防に関しては、保護者の理解や協力が不可欠であり、効果的な連携が課題である。</p> <p>食育や体力向上との関連を図り、総合的に取り組む。また、肥満予防・生活習慣改善に向けて、元気なあわっ子憲章の啓発普及を図り、家庭との連携を深める取組を推進する。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	20	20	16	18			120.0%	15	15
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)													
20	20	16	18			120.0%	15	15													

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																																																				
30	健康やかに生きる力の育成	学校保健の充実 肥満傾向の児童生徒数(小中) 担当課 体育学校安全課 施策・成果指標	<p>事業目的 本県の子どもの肥満予防・肥満対策を図るため、学校・家庭・地域・専門機関等が連携して、子どもたちの生活習慣の改善・肥満予防の取組を行う。</p> <p>取組状況(H27年度分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">(単位:%)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H25)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,437人</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>H25の4.7%減</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H25の2%減</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>目標値(H27)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H25の6%減</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) すべての学校において、児童生徒の生活習慣改善のための計画を作成し、その実践に取り組みなど、子どもたちの生活習慣改善の取組が徐々に浸透しつつある。</p> <p>評価 (課題) 全国的にみても、本県の子どもの肥満傾向児の出現率が依然として高い状況にあり、学校だけでなく、保護者や家庭の果たす役割が重要である。</p> <p>今後の取組方針 徳島の未来を担うすべての子どもたちの健康づくりを目指して「元気あわっ子憲章」について広く県民に周知を図るとともに、子どもたちの肥満予防・肥満対策を図るため、学校・家庭・地域等が連携して、「運動」「食」「睡眠」などの基本的な生活習慣の改善の取組を行う。</p> <p>事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>事業目的 障がいのある幼児児童生徒一人一人のニーズに応じた教育を充実させるために、関係機関が連携し障がいの状態に応じた支援を乳幼児期から学校卒業後までの長期的視点で行うための計画を明記した「個別の教育支援計画」の作成を推進する。</p> <p>取組状況(H27年度分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">(単位:%)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>73.7</td> <td>80.0</td> <td>87.4</td> <td>90.3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成率(H27)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>110.1%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>目標値(H27)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>82.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>85.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 障がいのある幼児児童生徒の将来を見据え、作成の必要性が保護者や学校等に徐々に浸透しつつある。</p> <p>評価 (課題) 作成にあたって、保護者の同意を必要としているので、作成の必要がある幼児児童生徒がいても、作成が困難な場合がある。</p> <p>今後の取組方針 特別支援教育コーディネーター研修や特別支援学級担当者研修等を通じて、障がいのある幼児児童生徒の早期支援のため「個別の教育支援計画」が重要であることを各園・学校に周知するとともに、幼稚園から小学校、中学校の進学時に引き継ぎのためにも作成の必要性があることを保護者へ改めて周知する。加えて作成が進んでいない学校等に対しては、巡回相談員が相談や研修の際に作成・活用の仕方等について指導等を行ったり、直接各学校からの相談に応じたりする。</p>	(単位:%)				基準値(H25)	H25	H26	H27	5,437人	-	-	H25の4.7%減				H25の2%減				目標値(H27)				目標値(H29)				H25の6%減	(単位:%)				基準値(H24)	H25	H26	H27	73.7	80.0	87.4	90.3				H29				達成率(H27)				110.1%				目標値(H27)				82.0				目標値(H29)				85.0
(単位:%)																																																																							
基準値(H25)	H25	H26	H27																																																																				
5,437人	-	-	H25の4.7%減																																																																				
			H25の2%減																																																																				
			目標値(H27)																																																																				
			目標値(H29)																																																																				
			H25の6%減																																																																				
(単位:%)																																																																							
基準値(H24)	H25	H26	H27																																																																				
73.7	80.0	87.4	90.3																																																																				
			H29																																																																				
			達成率(H27)																																																																				
			110.1%																																																																				
			目標値(H27)																																																																				
			82.0																																																																				
			目標値(H29)																																																																				
			85.0																																																																				
31	個性がひらく特別支援教育の推進	相談支援体制の充実 ニーズに応じた「個別の教育支援計画」の作成率 担当課 特別支援教育課	<p>事業目的 障がいのある幼児児童生徒一人一人のニーズに応じた教育を充実させるために、関係機関が連携し障がいの状態に応じた支援を乳幼児期から学校卒業後までの長期的視点で行うための計画を明記した「個別の教育支援計画」の作成を推進する。</p> <p>取組状況(H27年度分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">(単位:%)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>73.7</td> <td>80.0</td> <td>87.4</td> <td>90.3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成率(H27)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>110.1%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>目標値(H27)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>82.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>85.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 障がいのある幼児児童生徒の将来を見据え、作成の必要性が保護者や学校等に徐々に浸透しつつある。</p> <p>評価 (課題) 作成にあたって、保護者の同意を必要としているので、作成の必要がある幼児児童生徒がいても、作成が困難な場合がある。</p> <p>今後の取組方針 特別支援教育コーディネーター研修や特別支援学級担当者研修等を通じて、障がいのある幼児児童生徒の早期支援のため「個別の教育支援計画」が重要であることを各園・学校に周知するとともに、幼稚園から小学校、中学校の進学時に引き継ぎのためにも作成の必要性があることを保護者へ改めて周知する。加えて作成が進んでいない学校等に対しては、巡回相談員が相談や研修の際に作成・活用の仕方等について指導等を行ったり、直接各学校からの相談に応じたりする。</p>	(単位:%)				基準値(H24)	H25	H26	H27	73.7	80.0	87.4	90.3				H29				達成率(H27)				110.1%				目標値(H27)				82.0				目標値(H29)				85.0																												
(単位:%)																																																																							
基準値(H24)	H25	H26	H27																																																																				
73.7	80.0	87.4	90.3																																																																				
			H29																																																																				
			達成率(H27)																																																																				
			110.1%																																																																				
			目標値(H27)																																																																				
			82.0																																																																				
			目標値(H29)																																																																				
			85.0																																																																				



番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針
32	個性がひらく特別支援教育の推進	<b>就労支援の充実</b> 特別支援学校の就業体験協力事業所数(累計) 	<b>事業目的</b> 特別支援学校では、事業所等で適性に応じた就業体験を積極的に行うため、進路指導主事等が中心となり、就業体験に協力いただける事業所を開拓していく。 1 特別支援学校進路指導主事等15名が職場開拓を行った回数→2375回 2 新規に進路開拓した事業所数→117事業所 3 平成27年度に進路開拓した事業所のうち、就業体験を受け入れ可能と答えた事業所数→97事業所 (単位：事業所)	<b>事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針</b> 特別支援学校では、事業所等で適性に応じた就業体験を積極的に行うため、進路指導主事等が中心となり、就業体験に協力いただける事業所を開拓していく。 (成果) 進路指導主事等が中心になり、新たに97事業所を開拓することができた。 (課題) 特別支援学校では、生徒が事業所での就業体験を繰り返し行うことで卒業後の就労に結びつけている。そのため、進路指導主事を中心として生徒に応じた就業体験先の確保とマッチングが課題となっている。 徳島労働局・ハローワークや商工労働部労働雇用課、障害者雇用を支える徳島企業ネットワークなど関係機関と協力的に、特別支援学校ゆめチャレンジアや発達障がい者等雇用企業応援研修を開催し、就業体験協力事業所を積極的に開拓する。
33	個性がひらく特別支援教育の推進	<b>就労支援の充実</b> 県立特別支援学校高等部卒業生のうち、就職を希望する生徒の就職率 	<b>事業目的</b> 企業の障がい者雇用への理解を推進するとともに、生徒の就労意欲や技能向上を図るなど、特別支援学校生徒の自立のための取組を強化する。 (成果) 特別支援学校ゆめチャレンジアの2ヶ所開催 東部開催 参加企業25社 参加生徒121名 西部開催 参加企業22社 参加生徒112名 ゆめチャレンジアの参加や技能検定の受検者増により、生徒の働く動機付けが高まってきた。 ※平成27年度全体就職率：39%	<b>事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針</b> 企業の障がい者雇用への理解を推進するとともに、生徒の就労意欲や技能向上を図るなど、特別支援学校生徒の自立のための取組を強化する。 (成果) 特別支援学校ゆめチャレンジアやとくしま特別支援学校技能検定を実施し、生徒の働くための意欲や技能の向上を図ることができた。その結果、全体就職率も高まり、全国平均を上回ることができた。 (課題) 関係機関との「連携」による効果的な就労支援モデルの取組を進め、企業、教育、労働が連携した就労支援体制を構築する。 就労への支援として、企業との協働プロジェクトを始動し、技能検定の全数実施、企業との協力協定など生徒の「働きたい思い」を実現するために、企業の理解促進に取り組む。

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
34	個性がひらく特別支援教育の推進	<p>就労支援の充実 とくしま特別支援学校技能検定受検者数</p> <table border="1"> <caption>基礎値(H24) (単位:人)</caption> <thead> <tr> <th>基礎値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>65</td> <td>226</td> <td>353</td> <td>423</td> <td></td> <td></td> <td>114.3%</td> <td>370</td> <td>390</td> </tr> </tbody> </table>	基礎値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	65	226	353	423			114.3%	370	390	<p>事業目的 特別支援学校版の技能検定を実施することにより、特別支援学校生徒が学習の成果について認定を受け、生徒の就労に向けた意欲や技能の向上を図る。</p> <p>取組状況 (H27年度分) 「とくしま特別支援学校技能検定」として、ビルメンテナンクス（自在ぼうき、テーブル拭き、ダスタークロス、モップ）、接客（喫茶サービス）、介護（シーツ回収、シーツセット）、ICT（ワープロ入力）の4分野8種目を実施し、延べ423名の生徒が受検して敬認定を受けた。平成26年度から27年度にかけては、新たに介護分野のシーツセット技能検定の設置、西部開催により、受検者数が増加した。</p> <p>評価 (成果) 4分野8種目の検定を実施し423名の生徒が受検、受検した生徒には技能の習得とともに自信や意欲の向上が見られた。</p> <p>今後の取組方針 (課題) 作業学習の充実に向けた技能検定の取組について、県下の各特別支援学校での情報共有、指導教員のスキル向上や、事業所等への取組の周知や連携についても更に推進する必要がある。</p> <p>今後 今後とも、専門家等との連携により、ビルメンテナンクス、接客、介護、ICTの4分野について「とくしま特別支援学校技能検定」を継続して実施するとともに、接客分野及び流通分野新種目の開発を行い、特別支援学校生徒の就労に向けた技能の習得や意欲の向上を目指す。</p>
基礎値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)													
65	226	353	423			114.3%	370	390													
35	個性がひらく特別支援教育の推進	<p>発達障がい教育の充実 関係機関のネットワークを利用した高等学校相談校数</p> <table border="1"> <caption>基礎値(H24) (単位:校)</caption> <thead> <tr> <th>基礎値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>3</td> <td>13</td> <td>6</td> <td></td> <td></td> <td>40.0%</td> <td>15</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>	基礎値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	5	3	13	6			40.0%	15	15	<p>事業目的 発達障がい者総合支援センター、地域若者サポートステーション、就業・生活支援センターとICTネットワークを活用したテレビ会議システムを利用し、即時相談支援体制の構築を図ることにより、喫緊の課題である発達障がいのある高等学校段階の生徒の就労支援を実施する。</p> <p>取組状況 (H27年度分) テレビ会議システムを活用し、情報交換会2回（高等学校のべ6校）、なんでも相談会（高等学校2校、関係機関のべ6か所）、Web相談（県立部高等学校1校）、関係機関による情報交換会（運営委員会）を1回行った。</p> <p>評価 (成果) 発達障がいのある生徒の就労支援について、関係機関と連携し、「就労に関する自分発見チェックリストの紹介」、「校内の特別支援教育体制について」など具体的な支援方法を提示・情報交換することにより、高等学校だけではできなかった就労支援策を実施することができた。</p> <p>今後の取組方針 (課題) 発達障がいに関するICTネットワークを活用した相談は、従来のテレビ会議システムにはない新しい取組のため、各高等学校や特別支援教育巡回相談員が参加しやすい相談形態を工夫する必要がある。</p> <p>今後 発達障がいのある生徒の就労支援に関するICTネットワークを活用した相談について、高等学校へのさらなる周知を図るとともに、各高等学校が参加しやすいニーズに応じた内容の事例検討会・情報交換会による相談を実施する。また、特別支援教育巡回相談員からの情報提供や、関係機関からの情報提供をさらに進めていく。</p>
基礎値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)													
5	3	13	6			40.0%	15	15													

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針																										
36	個性がひらく特別支援教育の推進	<p>発達障がい教育の充実 「徳島県発達障がい教育研究会」における参加校数</p> <table border="1"> <caption>参加校数推移表</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>参加校数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>89</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>120</td> </tr> </tbody> </table>	年度	参加校数	H25	30	H26	89	H27	120	<p>事業目的 徳島県内の各園・学校において、発達障がいの特性を理解した教員等による教育活動の展開と有効な指導方法についての成果を、県内外へ情報発信を行う。</p> <p>取組状況(H27年度分) 第1回研究会参加校数(8月27日実施)：県外11校、県内77校 合計88校 第2回研究会参加校数(12月17日実施)：県外8校、県内24校 合計32校 合計120校</p> <table border="1"> <caption>達成率推移表</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値(H24)</td> <td>30</td> <td>89</td> <td>99</td> <td>120</td> <td></td> <td>133.3%</td> <td>90</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価 (成果) 県内外を中心に、目標値を上回る120校の参加があった。平成27年度は、2回のうち1回を校外の広い会場を借り上げて開催し、多数の参加があった。また2回目は、県外の高校に発表を依頼し、県外の先進的取組も知る良い機会となった。 (課題) 本研究会で発信したような内容を、各園や学校での実践に広げていってもらう中で、その実践の様子や課題についてフィードバックするような場も今後は設けていく必要がある。</p> <p>今後の取組方針 今後も、発達障がい教育研究会を通して、県内及び県外へ情報発信を行っていく。その際、長期的な見通しを持って研究会の主題や内容も複数年度にわたって進めていく。</p>	年度	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	基準値(H24)	30	89	99	120		133.3%	90	100
年度	参加校数																												
H25	30																												
H26	89																												
H27	120																												
年度	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)																					
基準値(H24)	30	89	99	120		133.3%	90	100																					
37	個性がひらく特別支援教育の推進	<p>担当課 特別支援教育課 施策・成果指標 発達障がい教育の充実 「発達障がい教育・自立促進アドバイザーチーム」と連携した実践教育の事例数(累計)</p> <table border="1"> <caption>事例数推移表</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事例数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25(基準値)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>27</td> </tr> </tbody> </table>	年度	事例数	H25(基準値)	0	H27	27	<p>事業目的 徳島県において、発達障がい教育・自立促進アドバイザーチームを核とし、共生社会の実現に向けた「とくしま支援モデル」の開発など徳島ならではの特別支援教育の充実を図る。</p> <p>取組状況(H27年度分) 平成27年度学校コンサルテーション実施校 ○特別支援学校6校 ○幼稚園1園、小学校2校 ○実践研究報告会の開催</p> <table border="1"> <caption>達成率推移表</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値(H25)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>27</td> <td></td> <td></td> <td>設置</td> <td>30</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>評価 (成果) アドバイザーを活用した効果的な学校コンサルテーションを推進することができた。各学校の児童生徒の行動をデータ化、客観的評価を行い、その成果を実践研究報告会において県内外に発信することができた。 (課題) 学校コンサルテーションを推進するために、専門性の高い校内担当リダーを各校2名程度養成する必要がある。 各事例の担任だけがアドバイザーから指導・助言を受けるのではなく、各事例について校内でチームを組み、複数の教員が専門家と協働できる仕組みを構築する。</p> <p>今後の取組方針</p>	年度	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	基準値(H25)	-	-	27			設置	30			
年度	事例数																												
H25(基準値)	0																												
H27	27																												
年度	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)																					
基準値(H25)	-	-	27			設置	30																						

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																												
38	個性がひらく特別支援教育の推進	発達障がい教育の充実 特別支援教育に関するe-ラーニング研修システムへの年間延べアクセス数	<p>事業目的 教員が幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な始動や必要な支援ができるように、e-ラーニング研修システムを開発し、教員の専門性向上を図る。</p> <p>「発達障がい教育・自立促進アドバイザーチーム」と連携し、e-ラーニング研修システムの学習教材の開発を進めた。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">(単位：件)</td> </tr> <tr> <td>基準値(H25)</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>開発</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H28</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>開発</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成率(H27)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>目標値(H27)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>開発</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1,200</td> </tr> </table> <p>(成果) 特別支援教育の基礎的な知識を教員が身に付けるためのe-ラーニング問題を試作(4領域, 48問)するとともに、e-ラーニング教材をWeb公開するためのクイズ作成ソフトの導入、公開手続きの検討を行った。</p> <p>〔課題〕 特別支援教育について専門性の高い教員による問題作成、検討組織の編成が必要である。職務研修の事前課題とするなど、広くe-ラーニング教材へのアクセスを拡大する取組が必要である。</p> <p>特別支援学校の巡回相談員等、専門性の高い教員により作問委員会を組織し、年2~3回の作問を行う。また、総合教育センターの職務研修担当者と協議し、e-ラーニング教材を事前課題として取り入れられる方策について、検討を行う。</p>	(単位：件)				基準値(H25)	H25	H26	H27	-	-	-	開発				H28				開発				H29				達成率(H27)				目標値(H27)				開発				目標値(H29)				1,200
(単位：件)																																															
基準値(H25)	H25	H26	H27																																												
-	-	-	開発																																												
			H28																																												
			開発																																												
			H29																																												
			達成率(H27)																																												
			目標値(H27)																																												
			開発																																												
			目標値(H29)																																												
			1,200																																												
39	行動につながる人権教育の推進	担当課 特別支援教育課 施策・成果指標 教育活動全体を通じた人権教育の充実 「徳島県人権教育推進方針」の改定・推進	<p>事業目的 人権に関する国の動向や社会的な状況を踏まえ、現行の「徳島県人権教育推進方針」に新たな人権教育の視点や人権課題の内容を追記するとともに、学校教育において、学習者の発達段階に応じ、あらゆる機会や場を捉えて人権教育を更に推進し、充実を図っていく。</p> <p>平成25年度に作成したリーフレット「『徳島県人権教育推進方針』に基づく人権教育の充実」を基に、各種研修会や学校訪問等を通じて、「徳島県人権教育推進方針」に追記をした内容の周知に努めた。また、具体的実践につながる指導者用資料の周知・活用資料の周知・活用資料の周知に努めた。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">(単位：-)</td> </tr> <tr> <td>基準値(H24)</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改定</td> <td>周知</td> <td>推進</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改定準備</td> <td>改定</td> <td>周知</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H28</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成率(H27)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>目標値(H27)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> </tr> </table> <p>(成果) 各種研修会や学校訪問を通じて、「徳島県人権教育推進方針」に追記した内容を周知するとともに、具体的実践につながる指導者用資料の活用促進を図ることができた。</p> <p>〔課題〕 追記した内容や昨年度作成した指導者用資料の周知とともに、「徳島県人権教育推進方針」に基づいた人権教育を更に推進する必要がある。</p> <p>様々な機会を通じて、リーフレットや指導者用資料を活用した人権教育の具体的実践を進め、人権教育の充実を図っていく。</p>	(単位：-)				基準値(H24)	H25	H26	H27		改定	周知	推進		改定準備	改定	周知				H28				推進				H29				達成率(H27)				目標値(H27)				推進				推進
(単位：-)																																															
基準値(H24)	H25	H26	H27																																												
	改定	周知	推進																																												
	改定準備	改定	周知																																												
			H28																																												
			推進																																												
			H29																																												
			達成率(H27)																																												
			目標値(H27)																																												
			推進																																												
			推進																																												

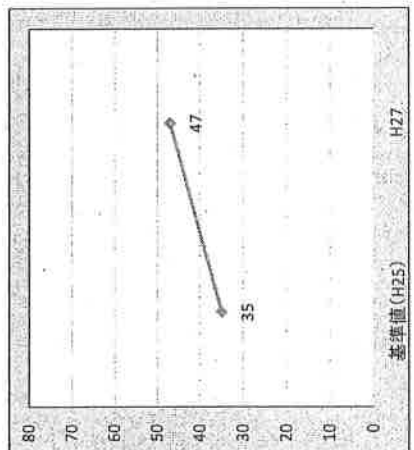
番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
40	行動につながる人権教育の推進	教育活動全体を通じた人権教育の充実 人権教育研究校の指定校数 	<b>事業目的</b> 人権意識を培うための学校教育の在り方等について、幅広い観点から実践的な研究を行い、その成果の普及に努め、人権教育に関する指導方法等の改善及び充実に資する。																		
			<b>事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針</b> 1 研究指定校の指定 ○県指定 (辻幼稚園、坂野幼稚園、鳴島支援学校、徳島中央高等学校) ○文部科学省指定 (芝生小学校、新開小学校、松茂中学校、阿南中学校) 2 研究発表会の開催 11月13日 (坂野幼稚園、新開小学校) 11月18日 (徳島中央高等学校) 3 ホームページ等での情報発信 11月6日 (阿南中学校)																		
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td></td> <td></td> <td>100.0%</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> (単位：校)	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	8	8	8	8			100.0%	8	8
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)													
8	8	8	8			100.0%	8	8													
			<b>評価</b> (成果) 研究指定校においては、実践研究を深め、指導内容や指導方法の改善・充実に努めるとともに、教職員の人権意識の高揚やP.T.A研修の充実にもつながった。研究発表会の開催、人権教育課のホームページ上での情報発信等により、研究の成果を広く県内各園・校に普及し、人権教育の充実を図ることができた。																		
			<b>今後の取組方針</b> 研究指定校における研究の充実に向けた支援に努めるとともに、様々な機会を捉えてその研究成果を広め、人権教育の充実を図っていく。																		
41	行動につながる人権教育の推進	教育活動全体を通じた人権教育の充実 ライフステージに応じた人権研修回数 	<b>事業目的</b> 「徳島県人権教育推進方針」に基づき、各学校における人権教育を充実・推進するため、教職員の人権意識の高揚を図り、人権及び人権問題に関する理解・認識を深め、人権教育の指導力を高める。																		
			<b>事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針</b> 1 初任者研修 (人権教育) (8月7日) 2 学校リーダー研修 (人権教育) 小・中学校 (6月5日)、高等学校・特別支援学校 (5月22日) 3 “あわ” じんけん講座 ①実践力向上講座 (8年目の教員) 幼 (7月31日)、小 (7月23日)、中 (7月24日)、高・特 (8月4日) ②指導力充実講座 (10年経歴者) 年間3回 幼、小、中、高・特 (8月18日) 4 人権教育主事研修会 5 教職5年次研修 (人権教育) 小 (11月30日)、中・特 (11月27日)、高・養 (12月4日)																		
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td>125.0%</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> (単位：回)	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	4	5	5	5			125.0%	4	4
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)													
4	5	5	5			125.0%	4	4													
			<b>評価</b> (成果) 従来の基本研修や職務研修と“あわ” じんけん講座を関連させることにより、教職員のライフステージに応じた人権教育の研修を実施することにより、人権問題の理解と人権意識の高揚につながっている。																		
			<b>今後の取組方針</b> (課題) 人権教育のほかにも様々な内容の研修が求められており、基本研修や職務研修で、人権教育に関する研修の機会を確保することが困難になってきている。研修内容の充実を図るとともに、総合教育センター等との連携を密にし、研修機会を更に確保していく必要がある。																		
			全国的に教員の世代交代が進みつつある中、ライフステージごとの研修において繰り返し人権教育を扱い、教員の人権意識と指導力の向上に努めていくことが求められている。研修において身に付けた知識や技能を、組織的な取組や幼児児童生徒の成長につなげていけるように、研修内容・指導方法の改善・充実に努める。																		

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針														
42	行動につながる人権教育の推進	<p>教育活動全体を通じた人権教育の充実 人権教育指導員の派遣要請の回数</p> <table border="1"> <caption>表1: 人権教育指導員派遣要請の回数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値(H23)</td> <td>287</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>224</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>256</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>237</td> </tr> <tr> <td>目標値(H27)</td> <td>290</td> </tr> <tr> <td>目標値(H29)</td> <td>300</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位:回)</p>	年度	回数	基準値(H23)	287	H25	224	H26	256	H27	237	目標値(H27)	290	目標値(H29)	300	<p>事業目的 人権教育指導員を選任し、各学校及び市町村教育委員会が主催する研修会等において指導助言することにより、県民の人権意識の高揚を図り、もって「徳島県人権教育推進方針」に基づき人権教育を推進し、人権尊重社会の実現に資することを目指す。</p> <p>取組状況 (H27年度分)</p> <p>(成果) 豊かな知識や経験の有する人権教育指導員を校内研修会等の講師として派遣し、人権に関する知識・理解を深め、指導力や実践力の向上を図ることができた。</p> <p>評価 (課題) 各学校等から依頼のある個別人権課題に偏りがある。各学校や市町村教育委員会等に、可能な限り幅広く個別人権課題を取り上げた研修が行われるように働きかけていく必要がある。</p> <p>今後の取組方針 今後とも、幅広い研修の要望に応えられる体制を整えていく。また、人権教育指導員の連絡会において今日的な課題についての研修会や情報交換を行い、指導員の指導力の向上を図っていく。</p>
年度	回数																
基準値(H23)	287																
H25	224																
H26	256																
H27	237																
目標値(H27)	290																
目標値(H29)	300																
43	行動につながる人権教育の推進	<p>教育活動全体を通じた人権教育の充実 人権尊重の思いを伝える作品募集の応募作品数</p> <table border="1"> <caption>表2: 人権尊重の思いを伝える作品募集の応募作品数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>応募作品数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値</td> <td>3,000</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>5,957</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>6,173</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>4,439</td> </tr> <tr> <td>目標値(H27)</td> <td>3,200</td> </tr> <tr> <td>目標値(H29)</td> <td>3,500</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位:作品)</p>	年度	応募作品数	基準値	3,000	H25	5,957	H26	6,173	H27	4,439	目標値(H27)	3,200	目標値(H29)	3,500	<p>事業目的 「いのち」の大切さや生きることのすばらしさをメッセージに託し、「いのち」の輝きを表現した作品の募集を通じて、「いのち」や人と人とのつながりの大切さ、人権尊重の重要性について考える機会を県民に持たせたい。人権尊重の精神の涵養を図る。また、その作品を人権教育・啓発資料として活用することにより、県民一人ひとりに「いのち」や人権を尊重するとはどのようなことなのかを感じ取っていただき、人権が尊重される社会づくりに向けた態度や行動につなげていくことを目的とする。</p> <p>取組状況 (H27年度分)</p> <p>(成果) 「いのち」の大切さを考える機会となった作品募集とともに表彰式や優秀作品の発表展示、パネルの貸出しなどにより、多くの県民が人権について考える機会とすることができた。</p> <p>評価 (課題) 本事業は、毎年、児童生徒に広く普及しつづける。今後は、一般の部の作品の充実に向けて広報に努めていく。また、「いのち」の大切さをテーマにした作品であるため、学校や地域社会において人権意識の高揚を図るために、効果的な作品の活用が必要である。</p> <p>今後の取組方針 作品募集について工夫し、更に広報に努める。また、様々な機会を捉えて作品・パネルの展示や貸出しを行うとともに、作品集を学校や社会教育施設へ配付し、効果的な作品の活用を図る。</p>
年度	応募作品数																
基準値	3,000																
H25	5,957																
H26	6,173																
H27	4,439																
目標値(H27)	3,200																
目標値(H29)	3,500																

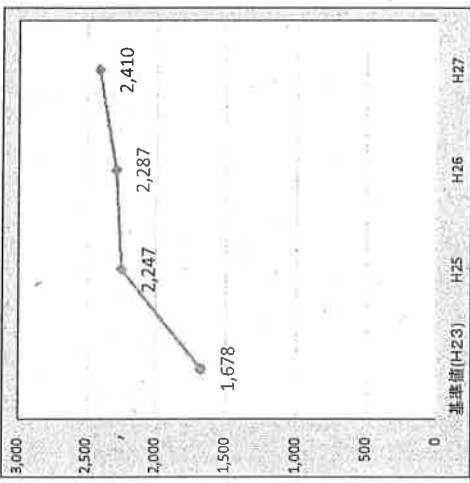
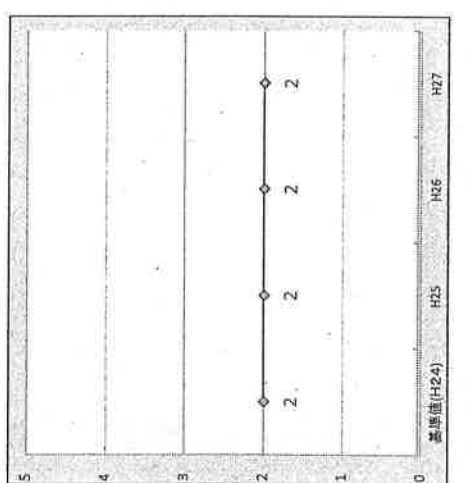
番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針																												
44	自主的な活動の推進 中・高生による人権交流集会参加人数	<table border="1"> <caption>人権交流集会参加人数推移表</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>412</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>371</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>358</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>339</td> </tr> </tbody> </table>	年度	参加人数	H24	412	H25	371	H26	358	H27	339	<p>中学校・高等学校及び特別支援学校の生徒が交流し、人権について語り合うことを通して、人権尊重の理念について理解を深めるとともに、人権意識の高揚を図り、様々な人権問題を解決する実践力を身に付けた生徒を育てる。</p> <p>中・南・西の各ブロックで中・高生等が交流しながら、人権教育の理念についての理解を深める自主的な活動を推進した。また、「中・高生による人権交流集会」には339名の参加者があり、講演後の分科会では、「同和問題について」「戦争と平和・戦争と人権について」「ハンセン病回復者の人権」のテーマで各ブロックの活動の発表や意見交換が行われた。さらに、全体会では分科会の報告発表が行われた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>412</td> <td>371</td> <td>358</td> <td>339</td> <td></td> <td></td> <td>77.0%</td> <td>440</td> <td>450</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：人)</p> <p>(成果) 各ブロックの生徒部会や実行委員会では、現地研修や講演会等を通して積極的な交流や意見交換が行われた。交流集会にも339名の参加があり、校種を超えた活発な意見交換が行われ、人権の意義や重要性についての理解が深まるとともに、人権問題を鋭く見抜く感性の高まりが見られた。</p> <p>(課題) 更に多くの生徒が参加して、共に学び交流が図れるように、内容や日程・実施会場の工夫を図っていく必要がある。</p> <p>交流集会の進め方や生徒が参加しやすい内容や日程・会場を工夫・改善し、多くの学校と生徒の参加者が得られるようにするとともに、生徒への周知を図っていく。中・高生等が一堂に会して人権について語り合うことを通して、人権意識の高揚と人権問題の解決に向けた実践力を身に付けることができるように取組を進めていく。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	412	371	358	339			77.0%	440	450
年度	参加人数																														
H24	412																														
H25	371																														
H26	358																														
H27	339																														
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)																							
412	371	358	339			77.0%	440	450																							
45	豊かな感性を育む芸術文化活動の推進	<table border="1"> <caption>芸術文化活動参加人数推移表</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>10,597</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>10,583</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>10,000</td> </tr> </tbody> </table>	年度	参加人数	H25	10,597	H26	10,583	H27	10,000	<p>事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>学校において、美術や音楽等の優れた芸術に触れる機会を充実させることで、子どもたちの豊かな想像力や思考力、コミュニケーション能力などを養うとともに、将来の芸術家の育成や芸術鑑賞能力の向上につなげる。</p> <p>1 文化庁事業：次代を担う文化芸術体験事業 巡回事業 37回 派遣事業 21回 2 徳島県児童演劇地方巡回公演事業 派遣回数 1回</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H25)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10,597</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>10,583</td> <td></td> <td></td> <td>105.8%</td> <td>10,000</td> <td>10,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：回)</p> <p>(成果) 文化庁事業・県費事業とともに、県作成の「文化教育人材バンク」を活用し、学校での芸術家等の活動を実施し、目標値を上回る成果を残した。</p> <p>(課題) 優れた芸術に触れる機会である本事業の内容や実施効果を広報する必要がある。</p> <p>今後とも、学校でのニーズの把握に努め、活動内容の質の向上、実施効果の広報等により、新規実施校の開拓を含め、更なる学校での芸術文化活動の振興を図る。</p>	基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	10,597	-	-	10,583			105.8%	10,000	10,000		
年度	参加人数																														
H25	10,597																														
H26	10,583																														
H27	10,000																														
基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)																							
10,597	-	-	10,583			105.8%	10,000	10,000																							

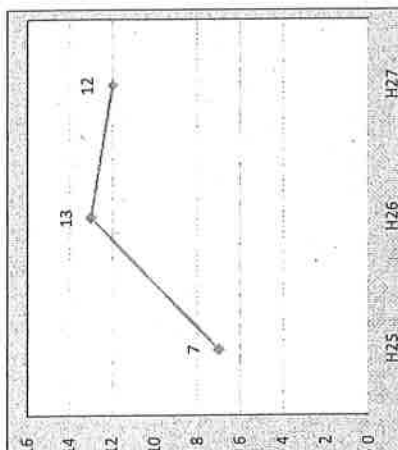
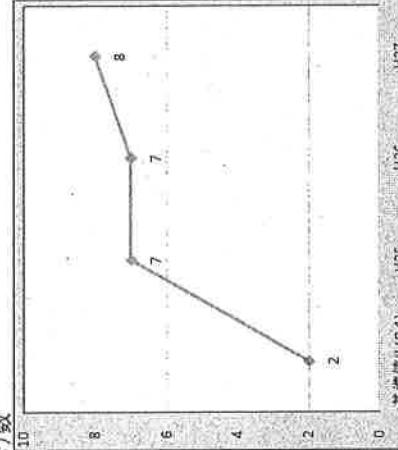
基本方針3 人権を尊重し、社会全体で取り組む教育の実現

推進項目	推進目標	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
46	<p>学校・家庭・地域の連携 「とくしま教育の日(週間)」の効果的な事業の実施</p> <p>学校・家庭・地域の連携の推進</p>	<p>教育に対する理解を深めるため、「とくしま教育の日(週間)」を中心に、学校や市町村、教育団体等で、様々な事業を実施している。さらに広く事業を普及、啓発するためにシンボルマークを活用した広報を展開する。</p> <p>1 市町村、教育機関や民間団体との協力・連携のもと、平成27年度は、26年度より27事業増の1,143事業を取りまとめた。</p> <p>2 シンボルマークを活用し、広報に努めた。</p> <p>3 保護者向け広報紙の発行時期を変更し、実施事業の効果的な広報に努めた。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>シンボルマークを使った広報・啓発</td> <td>効果的な事業の実施</td> <td>効果的な事業の実施</td> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>効果的な事業の実施</td> <td>事業の充実</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 学校・家庭・地域の連携を深めるとともに、開かれた学校づくりを推進するため、県立学校、小中学校においてオーブンスペースが開催されたほか、読書や文化祭を通して保護者や地域との交流会などの学校行事が数多く開催された。</p> <p>(課題) 効果的な事業の実施について、各関係団体、関係機関に対してさらに協力を求める。</p> <p>シンボルマークを活用する等、事業の一体的な広報・啓発に努めるとともに、より効果的な事業を実施する。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	—	シンボルマークを使った広報・啓発	効果的な事業の実施	効果的な事業の実施			—	効果的な事業の実施	事業の充実
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)												
—	シンボルマークを使った広報・啓発	効果的な事業の実施	効果的な事業の実施			—	効果的な事業の実施	事業の充実												
47	<p>学校・家庭・地域の連携 放課後や週末等における教育・体験活動の実施率</p> <p>学校・家庭・地域の連携の推進</p>	<p>事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>事業目的 未来を担う子どもたちに、放課後や週末等の豊かな学びの場を提供するため、地域住民や豊富な社会体験を持つ外部人材等の協力を得て、学校・家庭・地域が連携して地域全体で教育に取り組む体制を整備する。</p> <p>教育活動サポーター等研修会を実施し、実践報告や関係者の意見交換を行い、参加者の情報交換やスキルの向上を図った。また、放課後子供教室をはじめ社会教育に携わる地域の方々による社会教育研修大会を開催し、相互の理解と活動の広がりにつながる情報の共有化に努めた。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>基準値(H25)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>35</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>47</td> <td></td> <td></td> <td>104.4%</td> <td>45</td> <td>75</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：%)</p> <p>(成果) 教育活動サポーター等研修会や社会教育研修大会による意見交換や情報の共有化により、安心・安全な子ども居場所づくりの推進が図られた。</p> <p>(課題) 放課後子供教室においては、児童数の減少や教育活動推進員や教育活動サポーターの人員確保ができないなどの理由により、新規開拓が難しい場合がある。</p> <p>各事業間の連携を図り、子どもたちの安心・安全な居場所づくりを進め、地域の方々の理解や協力を得ることができるよう広報を行っていく。</p>	基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	35	—	—	47			104.4%	45	75
基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)												
35	—	—	47			104.4%	45	75												





推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
48	<p>学校・家庭・地域の連携 読書活動を推進するイベントへの参加者数</p>  <p>学校・家庭・地域の連携の推進</p>	<p>子どもの自主的な読書活動を推進するための環境整備を図る「徳島県子供の読書活動推進計画〔第三次推進計画〕」のもと、読書ボランティアのネットワークを構築し、図書館や学校等の連携を進めることにより、子どもの読書活動を推進する。</p> <p>県立図書館において、定期的に県立図書館主催の「おはなし会」と、ボランティアによる「おはなし会」を開催するとともに、子どもの読書活動への興味・関心を高める子ども読書活動推進事業として、子ども読書活動推進「読書コミュニケーション拠点形成支援」「とくしま子ども読書活動推進フォーラム」を実施し、子どもの読書活動の意義や重要性について県民の理解、関心を深めることを目的に開催し、地域フォーラム5回、全県フォーラム1回を実施し、492名の参加があった。以上のイベント参加者は、2,410人であった。</p> <p>取組状況 (H27年度分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H23)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,678</td> <td>2,247</td> <td>2,287</td> <td>2,410</td> <td></td> <td></td> <td>160.7%</td> <td>1,500</td> <td>1,500</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：人)</p> <p>(成果) 県立図書館での「おはなし会」の開催をはじめ、子どもたちの館内見学を積極的に行い、子どもたちが本・読書にふれあう機会を拡充した。</p> <p>ブックリスト掲載図書に対するコメントやイラストなどの作品を募集し、表彰することにより、子どもたちのブックリストへの関心を高めることができた。</p> <p>(課題) 読書ボランティアとの協働による読書の推進を図る必要がある。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>作成した両面ブックリストをより一層活用した啓発活動を継続するとともに、県民や「徳島県子供の読書活動推進協議会」からの意見・提言を反映させた推進活動に取り組み気運を高めていく。子どもの読書活動に関わる読み聞かせ等の団体やボランティア等のネットワークづくりのため、活動情報を収集し、ホームページ等で提供するとともに、新しい読書活動の取組（ビブリオバトルや群読）も紹介したい。</p>	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	1,678	2,247	2,287	2,410			160.7%	1,500	1,500
基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)												
1,678	2,247	2,287	2,410			160.7%	1,500	1,500												
49	<p>学校・家庭・地域の連携 読書活動を推進するイベントへの参加者数</p>  <p>学校・家庭・地域の連携の推進</p>	<p>事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>学校、家庭、地域社会が一体となった人権教育の総合的な取組を教育委員会との連携・協力のもとで推進し、地域全体で人権意識を培い、人権尊重の精神を高め、一人一人を大切にしたい。</p> <p>取組状況 (H27年度分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td>100.0%</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：地域)</p> <p>(成果) 総合推進地域においては、教育委員会が学校と連携しながら地域全体で充実した取組を展開することができた。連絡協議会では、学校教育と社会教育の取組を一緒に協議し、校種間の接続や連携・協働の視点から人権教育の総合的な推進について考えることができた。</p> <p>(課題) 総合推進地域への支援、研究成果等の普及については、更に工夫改善を行っていく必要がある。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>人権教育研究推進の連絡協議会を実施し、総合推進地域における研究や取組の充実に向けた支援に努めるとともに、様々な機会を捉えてその研究成果を広め、普及を図っていく。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	2	2	2	2			100.0%	2	2
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)												
2	2	2	2			100.0%	2	2												

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針																							
50	学校・家庭・地域の連携の推進 幼児期の成長を支える取組の推進	家庭の教育力の向上 家庭教育に関する学習機会を提供する講座数 	<p>地域ぐるみの家庭教育支援の実現に向けて、受講生のコミュニケーションスキルをはじめとした子育て支援の理論・技術の習得をめざす養成講座を実施し、地域において家庭の求めに応じた相談や情報提供などの支援活動を展開する家庭教育支援者を養成する。</p> <p>平成23年度から保護者の身近な家庭教育支援者である祖父母世代を対象に、昔の子育ての知恵や、現在の子育て状況について学習する養成講座を開講した。講座内容に、子や孫との活動（レクリエーション）を取り入れるなど、より実践的な内容となるよう工夫した。平成27年度は6講座を開催し34人の受講があった。また、父親の家庭教育参画やワークライフバランス意識の高揚を図るための講座も行い、19組42人の受講があった。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="5">(単位：回)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>7</td> <td>13</td> <td>12</td> <td></td> <td></td> <td>120.0%</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 祖父母世代を対象とする講座の開講により、家庭教育の学び直しや家庭教育支援に意欲的な祖父母世代のニーズに対応することができた。また、父親の子育て講座を開講するなど、実践的な取組を行うことができた。</p> <p>(課題) 市町村の家庭教育支援活動において、養成講座受講修了者を活用できるようガイダンス機能を高めていかなければならない。</p> <p>平成28年度から、新規事業家庭教育推進・強化事業の中の「わくわく家庭教育づくりプログラム事業」として、引き続き子育て世代にとつてより身近な祖父母と父親を対象に、昔の子育ての知恵や父親の家庭教育参画について学ぶ家庭教育講座を開講し、家庭教育支援者を養成する。また、受講修了者の生涯学習情報ネットワーク指導者登録の促進、県教育委員会事業・主催講座での活動提供等、受講者のこれからの活動の支援を推進する。</p>	(単位：回)					基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	-	7	13	12			120.0%	10	10
(単位：回)																										
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)																		
-	7	13	12			120.0%	10	10																		
51	学校・家庭・地域の連携の推進	家庭の教育力の向上 「早寝 早起き 朝ごはん」に「エコ活」表彰者(団体含む)数 	<p>事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>「早寝 早起き 朝ごはん」をはじめとした「早寝 早起き 朝ごはん」を中心とした「早寝 早起き 朝ごはん」に関する取組事例を募集し、優れた取組を表彰する。</p> <p>「早寝 早起き 朝ごはん」運動と節電を意識したエコ活動により、夏の暑さを乗り切った工夫ある取組をまとめた「活動事例」に24点の応募があり、またエコ活動や節電意識を高める標語・キャッチフレーズには780点の応募があった。優秀者を8名表彰した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="5">(単位：人)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>8</td> <td></td> <td></td> <td>160.0%</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 活動事例24点、標語780点の応募があり、工夫ある取組が多く寄せられた。応募数も昨年に比べ急増しており、優秀者も目標値を超える8名を表彰することにより生活習慣確立の気運が高まった。</p> <p>(課題) 活動事例、標語・キャッチフレーズともに応募総数の拡大を図るため、表彰制度の周知を図る必要がある。また、活動事例の募集にも力を入れる必要がある。</p> <p>優れた取組を表彰するのみにとどまらず、ホームページ・チラシ等を利用した実践事例の紹介に取り組み、「早寝 早起き 朝ごはん」運動とエコ活動のさらなる推進を図る。</p>	(単位：人)					基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	2	7	7	8			160.0%	5	5
(単位：人)																										
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)																		
2	7	7	8			160.0%	5	5																		